

# 認証保育所と育児の多様性

## - 認可保育所利用者へのインタビューから -

京都産業大学 松並ゼミ Cチーム

○佐藤 寧音 (Nene SATO)・榎根 優果 (Yuka KASHINE)・小和田 萌香 (Moeka KOWADA)・楠本 紗千 (Sachi KUSUMOTO)・伊澤 莉子 (Riko IZAWA)・山城 柚季 (Yuzuki YAMASHIRO)・尾崎 美玲 (Mirei OZAKI)・日野 亨志郎 (Kyoshiro HINO)

(京都産業大学 現代社会学部 現代社会学科)

キーワード：認可外保育所・認証保育所・潜在的待機児童

### 1. 研究目的

現在、日本では少子化が進む一方で、保育所利用率は増加傾向にあり、保育ニーズが地域で偏在していることから保育所の数は不足している。京都市では受皿確保の取り組みや認可保育所の協力により、11年連続で保育所等利用待機児童ゼロを達成している。しかしながら、京都市の潜在的待機児童数は2024年4月時点で昨年から39人増加し483人存在する。(京都市子ども若者はぐくみ局 2024) その原因の一つとして、多様化した働き方や暮らし方が当たり前になった現代において保育施設にも多様な形が求められているにも関わらず、現在の認可保育所は働き方に追いついていないことが挙げられる。そこで、東京都をはじめとした複数の自治体では、新たな保育施設の分類として認証保育所を設けている。認証保育所とは、国の基準によって分類される認可・認可外保育所とは異なり、自治体が独自の基準を設定し、その基準を満たすことで自治体が承認した保育施設である。認可保育所だけでは応えきれない保育ニーズに対応することを目的としている。

本研究では、保育所のあり方に焦点を当て、認可保育所に子供を預ける保護者のインタビューから多様化した働き方やニーズに合った認証保育所を考案し、導入に向けての政策を提案する。

### 2. 事前調査による現状分析

事前調査として6月25日～7月7日に保育所を利用している保護者を対象に、「子育てについて」という題目でMicrosoft Formsを用いたアンケートを保育所3か所に実施した。このアンケートでは子育て中の悩みを調査し、保護者の子育ての現状を把握することを目的とした内容になっており、51人の回答を得ることができた。

そして、アンケート結果から「保育所利用時間の他に、一時預かりや延長保育を求めている」意見が多く見られたことから、保育時間の短い認可保育所は、保護者の需要を満たしきれていないことがわかった。この点から、認可保育所よりも保育時間に幅を持たせることができる認可外保育所に着目した。しかし、認可外保育所は認可保育所

と比較し、利用者が少なく、京都市ホームページでは認可外保育所の詳細な情報は確認できない現状がある。そこで、情報不足による安全性への不安が利用への障壁になっていると仮定し、保育所選びの基準を調査するとともに、認可外保育所についてのイメージや認証保育所の需要を調査するため、インタビュー調査を行った。

### 3. 研究方法

2024年10月9日、10月11日に、知人を介し認可保育所を利用していた保護者3名(以下A氏、B氏、C氏とする。)にデプスインタビューを実施した。A氏・B氏・C氏共に保育所を利用するまでのプロセス等をインタビューガイドに従って聞き取る半構造化面接法で行った。

表1 調査対象者の属性

	日付	年齢	性別	当時の仕事
A氏	2024/10/9	50歳	女性	非正規
B氏	2024/10/9	33歳	女性	正社員
C氏	2024/10/11	53歳	女性	正社員→非正規

### 4. 調査結果

インタビューの内容を①～④に区分し、SCAT法で導いた最終的な構成概念を記載したものが表2のとおりである。

表2 インタビュー結果

	①認可外保育所へのイメージ	②認可外保育所に入所していた可能性	③保育所について調べやすかったか	④認証保育所が出来た時、選択肢に入るか
A氏	全体的に素人というイメージ	なかった	やりやすきはなかった	選択肢に入ると思う。国や市からの認証は安心感がある。
B氏	今はやっとなよくなってきた	ほぼなかった	やりやすきはなかった	選択肢には入る。単なる認可外保育所よりは魅力的に感じる。
C氏	ほとんどマイナスのイメージ	なかった	希望の国がある程度決まっていた	制度自体はいい。ただ、普通の認可外保育所の需要がなくなるのでは？

#### 4-1. 認可外保育所へのイメージ:「マイナスのイメージ」

保育士の資格が無くても保育に携わることができるため、全体的に素人というイメージを持って

いる。B氏からは、保育士などの人材が十分確保できていない場所もあるため、安全面に不安があるという意見を得た。特にC氏は、「うつぶせ寝」事故を一例に上げ、マイナスのイメージを抱えていると話した。

4-2. 認可外保育所に入所していた可能性:「なかった」

当時、認可外保育所が多くなかったという意見もあったが、「希望の場所に入所できなかつたら、家から遠くとも他の“認可保育所”に入所していた」といった意見もあり、あくまでも認可保育所優先であることがわかった。

4-3. 保育所について調べやすかったか:「やりやすくはなかった」

入所までの情報収集として、「区役所から保育所一覧表を受け取る→ホームページで検索→見学」といった流れが一般的なようであった。しかし、ほぼ自分で調べて動かないといけないことや、区のホームページから保育施設のホームページといったように、二段階で調べる必要があることに負担を感じていた。

4-4. 認証保育所ができれば選択肢に入るか:「入ると思う」

新たな方式の認証保育所について、三者とも肯定的な意見だった。「国や市からの認証があると安心」という意見から、我々が提言する「認証保育所」の需要が見えてきた。

## 5. 考察

分析結果から、認可外保育所に対してマイナスなイメージを持つ意見が多くあることが明らかになった。近年徐々に好転してきているという意見もあったが、依然安全面など、保育の質に対する不安を払拭することはできていない。京都市では定められた基準を満たした認可外保育所に「京都市認可外保育施設指導監督及び指導監督基準を満たす旨の証明書」を交付しているが、認可・認可外という区分しかなく、十全に運営している施設も認可外が故にその利点を周知しにくい現状がある。そのため、施設を選ぶ際、認可外保育所が選択肢に入りやすく、現状を知る機会が失われるため、イメージ改善にも繋がらないのではないかと考えられる。

さらに、情報収集に関して、事前調査だけでなくインタビュー調査でも不便さを訴える意見があり、改善の余地が残されていると考える。

## 6. 政策提言

働き方や暮らし方が多様化する中で、保育時間や入所可能人数など認可保育所では補いきれない需要があり、これは時に保護者の社会復帰の妨げとなっていると考えられる。それらを補う認可外保育所は、安全面や保育料に不安があり、積極的に利用しようとする人が少ないという課題が残る。しかし、不安要素を改善することができれば、認可保育所と比べ自由度の高い認可外保育所は、現代の日本において高い需要があるのではないかと考えられる。

これらを踏まえた上で、2つの政策を提案する。

### 6-1. 認証保育所の設置

認可保育所と認可外保育所の中間部分として京都市独自の基準を設定し、新たな方式の保育所を設ける。保育時間を13時間以上に設定することで19時以降の利用にも対応しつつ、二重保育を防ぎ、自治体から補助金を出すことで保育料に上限を定め、保護者の負担を削減することができる。また、自治体の承認を得ているという点により安心して子供を預けることが可能である。

インタビュー結果から、認証保育所に対して肯定的な意見を得ることができ、京都市においても市民のニーズに応えられる制度になることが期待できる。さらに、認可外保育所に認証保育所への移行を目指してもらい、認可外全体のレベルの底上げを図ることで、マイナスイメージの払拭が見込める。

### 6-2. 情報収集の簡便化

保育施設、特に認可外保育所に対する情報をまとめ、公式な情報として発信する。

現在京都市では、京都市ホームページ、はぐくもKYOTOなどのサイトで子育てに関する情報を得ることができ、保育施設についても確認することができる。しかし、認可保育所についての情報が充実している一方で、認可外保育所については不足感が否めない。公的な場での情報不足は、対象者の正確な知識取得を阻害し、不要な憶測に繋がる可能性もあるため、十分な情報提供が必要である。現在京都市からは、認可外保育所のMAPや受け入れ枠などの情報は確認することができない。そのため、保護者が一から調べる必要があり、負担が大きい。認可保育所と同様に十分な情報を得ることができれば、認可外保育所に対する見識も深まり、暮らしに合わせた選択の幅が広がるのではないかと考えられる。

### 参考文献

(1) 東京都福祉局(2001年)「認証保育園について」  
<https://www.fukushi.metro.tokyo.lg.jp/kodomo/hoiku/ninsyo/> (2024/10/13 閲覧)

(2) 京都市子ども若者はぐくみ局(2024年)  
p1 保育所等利用児童、待機児童の状況について  
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hagukumi/cmsfiles/contents/0000325/325710/R6taikizidou.pdf> (2024/10/13 閲覧)